

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		臨床工学技士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		医療倫理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	403
担 当 教 員		加藤 智久 他	実務経験と その関連資格	岐阜県白川病院に臨床工学技士として勤務経験あり 職能団体での活動経験あり			
《授業科目における学習内容》							
医療に関わるにあたり、誰もが考え取り組まざるをえない倫理学を学ぶ。 特殊な倫理学を学ぶ前に、共通の土台となる基本的な医療倫理学を学ぶ必要がある。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験(100点)で評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
配布資料							
《授業外における学習方法》							
他者とのコミュニケーションを図り、多様な価値観を共有し理解できるように心掛ける。							
《履修に当たっての留意点》							
多様な価値観の中で医療従事者だけではなく、患者の立場に立った思考をもてるようにする(笑)							
授業の 方法		内 容			使用教材	担当	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	伝統的な医の倫理と現代の医の倫理の違いが理解できる		配布資料	松井	
		各コマに おける 授業予定	「医の倫理 倫理学とは」の講義				
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	医療における規則・義務などの情報についての他の班の意見 を共有できる		配布資料	松井	
		各コマに おける 授業予定	規則・義務・倫理的ディレンマについての講義				
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	無加害・善行・公正(正義)について説明できる		配布資料	鎌田	
		各コマに おける 授業予定	倫理原理についての講義				
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	インフォームドコンセントについての他の班の意見を共有できる		配布資料	鎌田	
		各コマに おける 授業予定	インフォームドコンセントについての講義				
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	パターナリズムを理解できる		配布資料	鎌田	
		各コマに おける 授業予定	パターナリズムについての講義				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	自己決定主義と共同体主義を代理出産のGWを通して理解できる	配布資料	早川
		各コマにおける授業予定	「倫理委員会 ・自己決定主義と共同体主義」についての講義		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	功利主義と義務論の違いについて説明できる。秘密保持は、各専門職の法律の何条にあるかを知る。	配布資料	早川
		各コマにおける授業予定	功利主義と義務論、秘密保持についての講義		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	カルテ開示、医による危害について理解し説明できる	配布資料	早川
		各コマにおける授業予定	カルテ開示・医による危害についての講義		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	出生前診断の事例を通して優生思想を理解できる	配布資料	堀内
		各コマにおける授業予定	優生思想についての講義 「代理出産」について ①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	出生前診断の事例を通して優生思想を理解できる	配布資料	堀内
		各コマにおける授業予定	優生思想についての講義 「代理出産」について ②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖操作 ・出生前診断についての他の班の意見を共有できる	配布資料	堀内
		各コマにおける授業予定	生殖操作 ・出生前診断についての講義		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	遺伝子診断・治療についての他の班の意見を共有できる	配布資料	堀内
		各コマにおける授業予定	遺伝子診断・治療についての講義		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓器移植についての他の班の意見を共有できる	配布資料	加藤
		各コマにおける授業予定	臓器移植についての講義		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	実験研究の倫理について説明できる	配布資料	加藤
		各コマにおける授業予定	実験研究の倫理についての講義		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	緩和ケアやホスピスについて意見を共有できる	配布資料	伊藤
		各コマにおける授業予定	緩和ケア、ホスピスについて		